



驚見悟

- ・原発施設の固定資産税について
- ・就学援助制度について
- ・国民健康保険税について

原発施設の固定資産税について

質問 北海道新聞の報道によると、泊原発の固定資産税は前年度比10・3%減の22億7千万円。地方交付税の入らない村となっております、固定資産税の額では本町と比較にならないが、計算方式は同じだと思うが、今後どうなっていくのか。

町長 毎年1月1日現在の土地、家屋、償却資産の所有者に対して課税する仕組み。新規資産の増加等がない限りは、減少する。

質問 幌延町の深地層研究センターは、2000年に1億3千万円、平成12年には2億2千万円、現在は3億数千円となっているが、建物の減価償却の内訳は。

伊藤主幹 家屋は3年に1度評価替えがある。前回は平成27年度にやっているの

で、次回30年度の時に家屋については経年減価分が加味される。

質問 地下施設をどのように計算しているのか。

伊藤主幹 耐用年数30年で計算している。

質問 国立研究開発法人に原子力機構は変わったが、税法上の扱いに変化はないのか。

副町長 特例を受けるものもあるかもしれないが、今のところない。

就学援助制度について

質問 就学援助制度というものがあるが、幌延町ではどうなっているのか。

町長 毎年2月に入学説明会があり、その時に説明している。要保護世帯はいないが、準要保護世帯の19名を対象に、援助費を支給している。

国民健康保険税について

質問 国保会計が全道一本化を目指して進められている。旧留萌管内でみると、増毛と幌延だけが今年度と比較すると上がる計算になるが、なぜか。

町長 今回あげた数字は、シミュレーションのための仮算定。

質問 幌延町は国保の4方式をとっているが、十勝などでは3方式。国保の徴収率は全道でもトップクラスで、1人当たりの医療費は全道で1番少ないのに、なぜ高くなっていくのか。

町長 隣町などと比較すると、いろんな差異が出る。北海道を一律にすることが第一。また、3方式をとったからといって、下がるとは言い切れない。幌延町の所得も、決して低いほうではない。

質問 幌延町として、当面の選択は3方式がいいと思うが。

町長 私も断言はできないが、3方式という気持ちをもって、今後の説明等を聞いて、皆さんと協

議していききたいと思っている。

質問 東川町のように、75歳までを医療費無償化して

はどうか。
町長 今後とも、議会等やいろいろな人と協議していきたいと考えている。



無量谷 隆

- ・上幌延地区町営草地利用について
- ・水害対策について
- ・LED家庭用電灯事業について

上幌延地区町営草地利用について

質問 町営草地の利用が少ない実態がある。町外からの入牧に対し、受け入れるなどの利用の考えはないか。町内の乳牛頭数が減少しており、より良い利活用の方

向を考えてはどうか。
町長 畜産振興の基盤、農業経営の安定に寄与する目的で、条例に基づき町内の農家の皆さんに利用いただ

いている。町外からの受け入れということだが、町営草地運営委員会や、農協をはじめとする関係機関と利活用について検討していきたいと考えている。

水害対策について

質問 過去に水害に見舞われた問寒別地区のアイカッブ川、大塚の沢川の改修工事計画をたて、具体的に改修していく考えはないか。パークゴルフ場に、毎年のように春には水が付き、水害になるとのことだ。災害は忘れた頃に来るとい

うが、集中豪雨などの災害に対応できる施策を。
町長 町として、河川改修工事については考えていない。地域の方のご意見を聞き、経過観察をしながら補修等をしていきたいと考えている。

質問 下沼地区の3号幹線明渠排水付近において、春